

10月14日(金)より開催する企画展「赤堀茶臼山古墳—東国屈指のハニワたち—」に合わせ、3回に分けて企画展の情報をお届けします。まず、初回は赤堀茶臼山古墳について紹介します。ぜひ、資料館に来て企画展をご覧ください。



## 企画展 赤堀茶臼山古墳—東国屈指のハニワたち—

令和4年10月14日(金)～12月25日(日)

### ◆ 第1回 5世紀中頃に築造された帆立貝形古墳 赤堀茶臼山古墳 ◆

赤堀茶臼山古墳(市指定史跡)は、伊勢崎市北部の多田山丘陵に所在する5世紀中頃に造られた墳丘長約62mの古墳です。帆立貝のような形から帆立貝形古墳と呼ばれ、斜面には葺石が施されています。昭和4(1929)年の帝室博物館(現在の東京国立博物館)による発掘調査で家形埴輪群が出土した古墳として全国的に著名で、墳頂部には埋葬施設の2基の木炭櫛が並び、鏡や直刀・鉄鏃・鉄斧・石製模造品などの副葬品が出土しています。また、平成7～9年には、赤堀町教育委員会(当時)が発掘調査を実施しています。5世紀に畿内のヤマト王権で巨大な前方後円墳が次々と築造される中、新たに造られるようになった帆立貝形古墳は、最上位の前方後円墳に次ぐ古墳として、強い政治性と階層性の下で築造されていきます。全国でも4番目に帆立貝形古墳が多い群馬県において、赤堀茶臼山古墳は帆立貝形古墳の代表的存在です。次回はハニワをご紹介します。



平成7～9年調査時の赤堀茶臼山古墳(西から)



古墳の葺石(前方部～後円部)

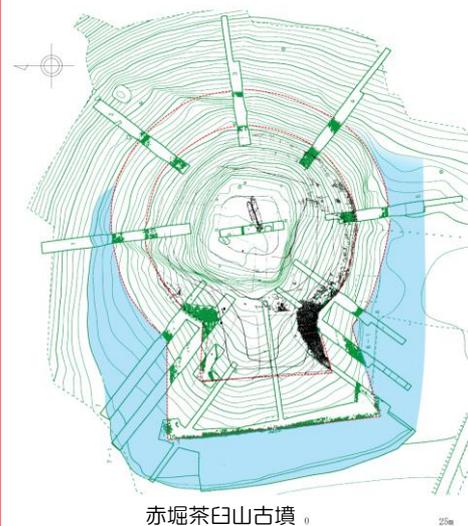


古墳の葺石(前方部)

### 企画展に合わせて歴史文化講座を開催します

- 第1回 10月16日(日) 右島和夫氏(群馬県立歴史博物館特別館長)  
「古墳時代5世紀の東国と赤堀茶臼山古墳」
  - 第2回 10月30日(日) 川道 亨(当館館長)  
「昭和4年赤堀茶臼山古墳発掘調査と郷土史研究者たち」
  - 第3回 11月13日(日) 賀来孝代氏(日本考古学協会会員)  
「赤堀茶臼山古墳の鶏形埴輪」
  - 第4回 11月27日(日) 河野正訓氏(東京国立博物館学芸研究部研究員)  
「赤堀茶臼山古墳の埴輪—東京国立博物館所蔵品の発掘から研究—」
  - 第5回 12月11日(日) 川道 亨(当館館長)  
「赤堀茶臼山古墳の埴輪工房—釜ノ口遺跡—」
- 時間: 13:30～15:00 申し込み: 10月7日(金)から電話予約  
定員: 各回25名→50名に変更(先着順)  
会場: 赤堀歴史民俗資料館→赤堀公民館(資料館西隣)に変更

会場と定員を  
変更します



赤堀茶臼山古墳

※新型コロナウイルスの影響により中止する場合があります

伊勢崎市赤堀歴史民俗資料館

入館無料

休館日: 月曜日(月曜日が祝日は翌日)・年末年始・臨時休館日 開館時間: 午前9時～午後5時(入館は4時30分)

お問い合わせ 群馬県伊勢崎市西久保町二丁目98 電話 0270-63-0030 FAX 0270-63-0087

新型コロナウイルス感染症対策にご協力ください。ご来館の際は最新情報をホームページでご確認ください。